

2008-09年度  
R.I. テーマ



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries  
R.I. District 2550 (Tochigi.Japan)

夢をかたちに

ガバナー 羽石光臣

2008-09年度 ガバナーの目標 「子供たちに夢を」 その夢をかたちに



「サワガニとり」

京極 歩 (宇都宮雀宮中央小)  
文芸芸大子ども芸術祭・奨励賞



## 今月のガバナーズ・コラム 年度の初めにあって P3

「入りて学び、出でて奉仕せよ」

“ Enter to learn and Go forth to serve ”

この言葉は、1947- 48年度RI会長S.ケンドリック・ガーンジーの  
テーマです。テーマとして最初のもので、(宇都宮北R鈴木 広)

### ロータリー月間

- 8月 会員増強および拡大月間
- 9月 新世代のための月間
- 10月 職業奉仕月間

### 目次

- P1 R会長メッセージ
- P3 羽石ガバナーメッセージ
- P5 就任挨拶  
地区幹事  
地区会計長 各グループガバナー補佐  
地区各委員長、地区DICO
- P15 ガバナー公式訪問日程表
- P16 地区組織図
- P17 地区主要行事予定
- P18 ロータリー月間 / ロータリーの銅領
- P19 文庫通信 / 通信欄



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 財団法人 栃木県青年会館 コンセーレ4階  
TEL 028-611-3808 FAX 028-611-3809  
http://www.rid2550.jp E-mail : d2550@silk.ocn.ne.jp

01  
2008-07



## RI会長メッセージ

国際ロータリー会長

### 李東建 氏

韓国、ソウル

2007-08年度国際ロータリー会長エレクト  
2003-07年度ロータリー財団管理委員  
2002-03年度国際ロータリー財務長  
2001-03年度国際ロータリー理事  
2004-05年度会長主催祝賀会議（地域社会問題）委員長  
1995-96年度地区ガバナー



李東建氏は、ソウルにある製造会社、ブバン株式会社ならびにブバン・テクロン株式会社の会長を務めています。延世大学で政治学と外交学の学位を取得した李氏は、現在、釜山情報大学の理事を務め、過去には、母校の高校と大学の学友会会長を務めたこともあります。また、ソウル銀行の理事を務め、韓国のイタリア領事館において名誉領事を務めた経歴の持ち主です。2005年には、韓国大統領によって国際親善大使に任命されました。

李氏は、1971年にソウル漢江ロータリー・クラブに加わり、これまでにRI理事、財務長、管理委員、地区ガバナー、および国際協議会の研修リーダーを務めてきました。また、ロータリー財団地域コーディネーター、ゾーンならびに地域の会員増強コーディネーターも務めたことがあります。現在は、韓国でポリオ撲滅民間部門推進計画の委員長を務めています。李氏は、財団の功労表彰状を受けています。1996年には、地区ガバナーとして32の新たなクラブを結成し、1800人近くの新会員を入会させ、李氏の地区は、同年度のロータリー世界のリーダーとなりました。第87回国際大会では、会員増強活動におけるその最高の功績を称えられ「カルガリー・チャレンジ」の受賞者として表彰されました。

韓国、ソウルに在住する李氏とヨン・ジャ夫人との間には、4人の成人したお子さんと、4人のお孫さんがいます。

2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに  
地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。

ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるというロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になりました。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。



健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものです。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす 5歳未満の子供の数が 3万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものです。しかし、その数字に誤りはありませんでした。悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やしかし、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死んでいく人々も一日に何千人といます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後 1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にさせていただくことです。

この思いから、私は 2008-09年度の RIテーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること……、これは（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008-09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」してくださるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注いできました。この決定にはしかるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にあります。

この 3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は 1日あたり 6,000人です。安全な水があれば、この数字を直ちに、しかも劇的に減らすことができるのです。栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。そして、読み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まるでしょう。

ロータリーは、まさに地球規模のボランティアたちのネットワークです。ですから、世界中のクラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材のすべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することができるのです。私たちが一丸となったとき、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標さえ取り組みが可能になります。これが類いまれな私たちの組織の資質です。私たちがあらん限りのリソースを生かし、各クラブとロータリー財団のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化をもたらし、世界の子供たちのために「夢をかたちに」することができるでしょう。

李 東 建  
2008-09年度国際ロータリー会長



## 年度の初めにあって

国際ロータリー第 2550地区  
2008-2009年度ガバナー

羽石 光臣 (宇都宮東 RC)

国際ロータリー第 2550地区のロータリアンの皆さま 2008～ 09年度の一年間、皆様との意思疎通の月信、ロータリーを学ぶ月信になりますよう皆様のご協力、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

月信は全会員に届きますので敢えて RI 会長テーマ、強調事項、地区活動目標を改めて掲載致します。李東建 (D.K.Lee) 国際ロータリー会長の、2008～ 09年度の RI テーマと強調事項は次の通りです。

RI テーマ “ Make Dreams Real ”  
「夢をかたちに」

RI 会長強調事項

水、保健と飢餓、識字率向上

避けられるはずの病気で命を落とす 5歳未満の幼児が毎日 3万人。この愕然たる数字の裏にある問題の根源を理解できたとき、私はやるべきことが見えてきました。「治療可能な病気も、不衛生な環境と栄養失調とがあいまっては、子供たちの命を奪う不治の病となります」「水」「保健と飢餓」「命を奪うほどの赤貧の連鎖を断ち切る方法は、教育においてほかにありません」「識字率向上」世界中で子供の死亡率を低下させ、「将来への希望とチャンスの子供たちに与える」ために、子供たちの「夢をかたちに」するために、自分のできることをしよう。

李 RI 会長の強い願いです。

2008～ 09年度 R財団目標

1. ポリオの撲滅という約束を守る。
2. ロータリー財団を支える 2本柱、「毎年あ

なたも 100ドルを」による年次プログラム基金および恒久基金を推進する。

3. ロータリー世界平和フェロシップ・プログラムを恒久的に確立し、世界ポリオ撲滅を支援するために、クラブと地区の財団からの資金を分かち合う「手を貸そう」のプログラム、すなわち、みんなの財団、私たちの財団に参加する。
4. ロータリーの公共イメージを高める。
5. ロータリー財団の未来の夢計画を支援する。

国際ロータリー第 2550地区  
2008～ 09年度活動目標

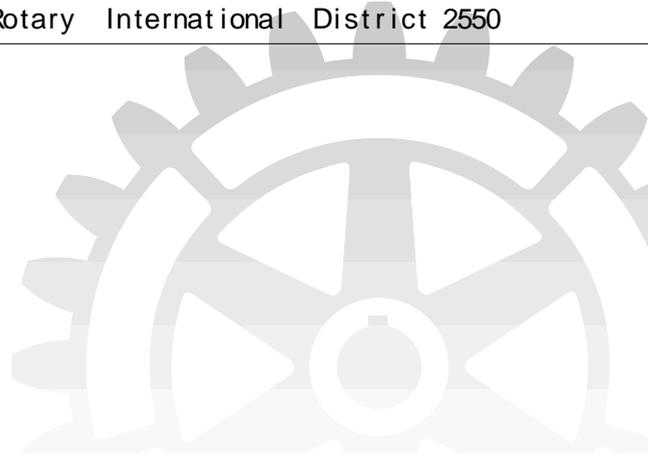
RI 会長の強調事項は 6年目の継続事業ですし、会員増強は永遠の継続事業です。それらの目標達成のために、長期的観点から考えるならば、クラブが活性化することを考えなければなりません。

1. RI 会長の強調事項の「夢をかたちに」するために

- 1) 子供の死亡率を低下させる奉仕プロジェクトを地元レベル、国際レベル (WCS) で実施してクラブの独自性を発揮しクラブの活性化を図る。
- 2) 会長強調事項の会員増強、水保全、保健と飢餓救済、識字率向上のために、会員増強、四大奉仕部門の 5つの分野からそれぞれ 1つの活動を発掘して実施する。
- 3) 2009年 3月 31日までに 1名の会員純増。WCS活動を積極的に実施して下さい。

「夢をかたちに」子供の死亡率の低下、子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。

地元地域活動を積極的に実施して下さい。



素晴らしい世界を後世に残すためには、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。「夢を与える」奉仕プログラムを実行して下さい。

## 2. クラブの活性化のための目標

RI会長の「夢をかたちに」するために、“ロータリーで人格を高めましょう！”

- 1) 例会の出席率（中途退場することなく）を高めましょう。

例会に出席することは会員の三大義務の一つです。ロータリークラブの例会は、事業上の発想の交換の場です。例会を通じて学ぶことはロータリーの奉仕理念と奉仕の心の研鑽です。ロータリーの例会は自己改善の場です。例会で分かち合いの精神を学び、友情を深め、切磋琢磨しながら、自己改善を計ることで、その結果として、奉仕の精神が育まれる事になると思います。米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。「入りて学び、出でて奉仕せよ」、親睦の第一歩である例会に出席して人格を高めましょう。

- 2) 他クラブの活動を知り、お互いに学びあいましょう。

自主性をもってプロジェクトを起こし、参加することがクラブも、会員も活性化すると思います。

- 3) 自分のために、他人のためにロータリーの“こころ”を学びましょう。

100年にわたり続いてきたロータリーの価値観である「奉仕と親睦」「職業奉仕」などロータリーの原則を知ることが自分のために、そして人のためになると思います。ロータリーを学ぶための身近な情報源であります、「ロータリーの友」を

読むことも会員の三大義務の一つです。

- 4) 例会外の活動、炉辺会合、委員会活動を活発にしましょう。

例会の時間内だけではロータリーの楽しさ、そして奥の深さが味わえないと思います。

3. ロータリー財団活動への参加・支援

R財団の目標は「あなたも100ドル」ですが、地区の目標は「130ドル」です。

- ・財団活動への参加プロジェクトへの発掘と実施。

4. 米山記念奨学会活動への参加・支援

- ・米山記念奨学生の受入れ及びカウンセリングの実施。

今、私たちが成さなければならない仕事とは、ロータリーへの揺るぎない信念、新たな信念を同胞ロータリアンに与えることです。

すべてのロータリアンは、ロータリーの会員となることは、ゴルフクラブや囲碁クラブの会員となることとは異なるのだとする信条を支持する必要があります。つまり、基本的な原則に戻り、過去100年あまりにわたり、親睦と奉仕において私たちのクラブの発展に寄与し続けてきた永遠の価値観を尊ぶことです。とビチャイ・ラタクル氏は国際協議会本会議の講演で述べられました。

次回の月信で「親睦と奉仕」を考えます。



## 就任あいさつ



地区幹事

**福田 治雄**  
(宇都宮東 RC)

地区会計長

**川村 寿文**  
(宇都宮東 RC)

この度 2008～09年度 RI2550地区ガバナーとして宇都宮東 RCから羽石光臣氏が就任いたしました。当クラブとしては 1991～92年度の辻由兵衛ガバナー以来 17年振りのガバナー就任となりました。落合雅雄、近藤隆亮ガバナー年度の地区幹事であります大島伸介様、篠崎昌平様両先輩幹事のご指導を頂き 2008～09年の羽石光臣ガバナー年度の地区幹事として不肖私が就任いたしました。

羽石光臣ガバナーは今年 1月国際協議会に出席され、2008～09年度の RIテーマ「Make Dreams Real」(夢をかたちに)と定められました。それ以後ガバナー補佐との研修、地区チーム研修、会長エレクト研修、地区協議会等一連の研修会を終了し新年度を迎えることになりました。地区幹事の責務は円滑な地区運営を計ることにあります。

ガバナー補佐、地区役員、各委員の皆様のご活躍を期待申し上げ、羽石年度に対するご支援、ご協力をお願いしまして就任のご挨拶いたします。

このたび、2007年～2008年度、RI第2550地区会計長として地区資金の管理を行うことになりました。

羽石年度におきましては収入の基礎である地区会員数を前年より 50名少なく 1,950名として予算を作成しました。各委員会には前年より少額な予算にてより活発な活動をお願い致しております。

羽石ガバナー年度の活動目標達成に会計長としての責務を果たたく、会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。





## 就任あいさつ



第1グループガバナー補佐

**塩川 美好**

(西那須野 RC)

羽石ガバナー年度、第1グループ(大田原、黒磯、西那須野、黒羽、那須、塩原、大田原中央)ガバナー補佐を委嘱されました西那須野ロータリークラブの塩川です。

私は昭和1ヶタ生まれ、一般論で申しますと社会的には既に過去の人間であります、が。老骨に鞭打ち与えられた責務を果たして参りたいと思います。

一昨年度よりCLPが導入され、各クラブとも規模・実態・環境・能力に応じたクラブの充実強化・活性化を図られていることでしょう。

2008～09年度の李東建(D.K.Lee)RI会長は、地域社会の最も大切な資源、それは「子ども達」、若い世代に焦点を当て、RIテーマを「夢をかたちに」としました。

地区においては、RIテーマ及び強調事項を指針として、「夢をかたちに」の具現化、クラブ活性化のための目標樹立(CLPの充実)、財団活動への支援、米山記念奨学会への支援等を重点としております。

クラブの目標もRIテーマ、地区目標等を勘案して1本スジの通ったものが考えられると思いますが...

ガバナー補佐は、ガバナーの意を十分認識し、地区とグループ内、いわゆるクラブとのパイプ役として情報等を提供し、常にコミュニケーションを図るよう心掛け、クラブ活性化の支援並びに目標達成のため、微力ではありますが地域社会のニーズを見極めながら、考え、行動(実践)努力して参ります。

先輩各位の叱咤激励並びに皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。



第2グループガバナー補佐

**斎藤友紀雄**

(高根沢 RC)

第2グループガバナー補佐を委嘱されました、高根沢ロータリークラブの斎藤友紀雄でございます。2008 - 2009年度RI会長のテーマは「Make Dreams Real 夢をかたちに」です。比較的理念のようなテーマが多い中で、異色ともとれる具体的なスローガンです。まさかIR会長が言うわけはありませんが、私流に心情を夢想してみますと、「ハイ、ハイ、お題目はもう充分だ、結果を出そうよ」と言っているようにも聞こえます。まさかゲイツ氏からの寄付で、気が急いているわけではないでしょうが。(汗)

地区におきましては羽石ガバナーの掲げる活動目標が円滑に推進されることが第一です。しかしながらグループによっては状況異なります。当グループは小規模な所帯ではありますが、地区一番の連帯と友情が存在するとすべての会員が信じているエリアです。私も微力ではありますが、皆様のご指導ご協力のもと、ガバナーと各クラブの連携にお役に立てるよう努力する所存です。

さて「キャッチ ミー イフ ユウ キャン」という映画をご覧になったでしょうか。冒頭で主人公の父が米国での成功者になったことを、観客に手短かに伝えるため用意されたシーンは、ロータリークラブへの入会式でした。会員拡大は常なるテーマです。「入会が成功者の証である」とするなら会員数の増減が、景気とリンクしてしまうことは疑いようもありません。しかしそれを理由に留まっていたのは先へ進めません。「Make Dreams Real」が、「結果を出そうよ」と意識できるとするなら、それは日本の片田舎でロータリー活動を続ける我々にも、投げかけられたボールであると言えます。こんな時期だからこそ、地域に即したロータリーの存在意義を熟考してみたいと思います。そして共に、各クラブの充実と地区の目標達成のため「知恵と汗」を出そうではありませんか。



## 就任あいさつ



第3グループ(A) ガバナー補佐  
**高橋 和夫**  
(宇都宮陽北 RC)

2008～2009年度 第3グループ(A)のガバナー補佐を拝命いたしました、宇都宮陽北ロータリークラブの高橋和夫でございます。私は、ロータリー歴も浅くしかも知識、見識とも少なくその器ではありませんが、お引受けさせて頂いた以上は各クラブ会長・幹事様始め会員の皆様に深くご理解とご支援賜りまして精一杯頑張らせて頂きたいと思っておりますので、この一年どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、2008～2009年度 RIのテーマは「Make Dreams Real」「夢をかたちに」であります。そして、国際ロータリー第2550地区活動目標も示されました、この目標達成には何よりも各クラブのすべての会員皆様の深いご理解とご支援ご協力がなければ目標達成は難しいと思っておりますし、ロータリーは組織でありそのクラブに属する会員の方々が互いに協力し理解し、会員相互の親睦を深めてこそクラブの活性化が図られ積極的なクラブ運営の下、より効果的な活動ができ、地域はもとより、会員からも高い評価が得られ結果として目標達成への原動力となることと思っております。

ガバナー補佐としての私の任務は皆様の、クラブがより効果的なクラブ運営ができるよう、多方面での援助やガバナーとそして地区へのパイプ役となり一生懸命努力することだと理解をしております、2008～2009年度は皆様のクラブにとってすばらしい一年でありますようご祈念を申し上げます。



第3グループ(B) ガバナー補佐  
**野口 忠男**  
(宇都宮東 RC)

2008年～2009年度の羽石ガバナーの下、第3グループBのガバナー補佐を務める事になりました。よろしくお願い致します。私にとってロータリーを考え学ぶよい機会だと考えております。しかしながら、ロータリーについて研修会などで色々な御話を伺いますと、益々ロータリーとは何か分からなくなってしまいます。ロータリーは難しいものだと思います。会員は皆様々な考えや仕事や生活を持っています。一人一人の会員は各々ロータリーに対する考えもそれぞれだと思います。色々な考えをもった人々がいるからこそロータリーは深みのあるクラブとなるのだと思います。クラブの活性化については、色々な議論がありますが「親睦」は大切な要素だと私自身考えています。ポールハリスも心を開いて語り合える友人が欲しかったのでロータリークラブを作ったのだと思います。無論その後の職業奉仕の考えや社会奉仕などの発展はあるのですが、ロータリーの原点は「親睦」にあると思います。

DLPからCLPと変遷がありました。これは組織の上の問題ですが組織としてクラブの自由度が増したと言えます。それと同時にクラブ運営の上でも自由な発想が求められているものだと思います。本年度のテーマはMake Dreams Real「夢をかたちに」と訳されていますが、「夢を現実に」とした方が分かり易いのではという議論もありました。この夢は恵まれない子供たちの夢なのか、ロータリアンの夢なのか、誰の夢なのでしょう。

何れにせよ、本年度テーマはロータリアンが一致して活動してゆく目標で、各々の会員の意識が世界共通となるものです。実現に努力したいと思います。それらの結果としてのものですが、RI会長賞を我が第3グループBで沢山とれるようがんばって頂きたいと思っております。出来る限りそのお手伝いをさせていただきます。



## 就任あいさつ



第4グループガバナー補佐

**上野 徳浩**

(真岡西 RC)



第5グループガバナー補佐

**柿沼 幸宏**

(小山東 RC)

この度 2008～2009年度第4グループ(真岡RC・益子RC・真岡西RC・しもつけRC)ガバナー補佐を拝命いたしました、真岡西ロータリークラブの上野徳浩でございます。

羽石光臣ガバナーと共にRI会長テーマ・強調事項を理解しまして、微力ではございますがガバナーを援助する事を主な役割と考え一年間務めてまいりたいと思います。

本年度、羽石ガバナーはRI会長李東建(D.K. Lee)氏のテーマ「夢をかたちに」を、素晴らしい世界を後世に残すためには最も若い世代に焦点を当てなければならない、世界中のロータリアンの皆様に地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光りを当てていただくことを提唱されております。

地区においては特にクラブ活性化のための目標にロータリーで人格を高めましょう。

- 例会の出席率(中途退場することなく)を高めましょう。
- 他クラブの活動を知りお互いに学びあいましょ
- う。
- 自分のために、他人のために、ロータリーの心を学びましょう。
- 例会外に活動、炉辺会合、委員会活動を活発にしましょう。

の考え方をクラブを活性するための基本とすることにより、会員の維持増強することにも繋がることと定めています。

ガバナーの方針、地区の情報等をグループ内のクラブに的確に伝えクラブの情報、諸問題をガバナーに伝えることを考えております。

多くの会員のご意見をお聞かせ願えればと思っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

これから一年、羽石ガバナーの掲げた目標の実現に努力したいと思いますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

現在のロータリーは種々の困難な問題に直面していると思います。「なぜロータリアンなのか!?一業種一会員の原則は?真の親睦(友愛)とは?職業奉仕、職業倫理とは?これらの間に正面から、そして、原点に戻って真剣に考えなければならない時期に来ていると思います。そしてロータリアンとしての誇りを取り戻しましょう。」

RI会長の「夢をかたちに」を合言葉に、また、2550地区の皆様と一緒に勉強しながら楽しい、有意義な一年になりますよう頑張りましょう。親睦と職業奉仕を橋桁にして、ロータリーという橋をかけましょう!



## 就任あいさつ



第6グループガバナー補佐

**平野正之**

(栃木西 RC)



第7グループガバナー補佐

**三品一男**

(鹿沼中央 RC)

羽石ガバナー年度ガバナー補佐を委嘱されました栃木西 RCの平野正之です。

昨年落合年度には皆様に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

当時の地区会員大会の実行委員長を勤めさせていただき、クラブメンバーの皆様の協力を得て無事勤まりました関係で此のたびガバナー補佐を引き受けさせられました。

何も 43年間勉強をしていません、ただ私なりにロータリーを考えますのにあまり教義にこだわりロータリーをつまらなくしてきたのではないかと、私が入会を受け入れていただいたときは大変楽しい会でした、皆さん誇りを持っていました私は、東京からの転入人でしたがクラブに入れて始めて栃木の人間として認められたような気がしたものでした。

皆さんロータリーを楽しみませんか！上位下達で無く下意上達のつもりで第6グループは楽しいクラブ活動を展開したいと思います、勿論ガバナーの方針を無視するものではありません。方針を遵守しながら、各々のクラブの特徴を生かしお互いに助け合って楽しいクラブライフを送りたいと思います。

皆様のご協力、ご指導を切にお願いいたします。ロータリー万歳。

今年度 国際ロータリー第2550地区第7グループのガバナー補佐として、羽石光臣ガバナーよりその任をいただきました三品一男でございます、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

すでにご案内の様に国際ロータリー会長の李東建(D.K.Lee)氏は「夢をかたちに」と全世界のロータリークラブに呼び掛けています。

「子供たち」は地域社会の資源と、それを受けた羽石光臣ガバナーは PETS(2008年3月9日、会長エレクト研修セミナー)をはじめ地区協議会(2008年4月19日)等々において羽石年度地区活動目標を必要に提唱力説されました。

グループ内各クラブでは「効果的なロータリー・クラブとなる為の活動計画の指標」が提出され、その項目と自クラブに見合ったクラブ活動をされておられる事と思います。

それぞれのクラブがより快活になるために羽石ガバナーは支援します。

私もその一端に微力を尽くすべく思いをしております。

既に CLPを採用された又は採用中のクラブも「クラブに沿った CLPに」変動し得る様な「クラブ定款、細則の見直し」をお願いしたいとの事です。

今年一年時に触れ貴クラブに訪問させて頂く思いを強くしている所であります。

その折にはどうぞ宜しくお願い致します。



## 就任あいさつ



第8グループガバナー補佐

**黒川 貫 男**

(足利西 RC)



第9グループガバナー補佐

**寺内 治 男**

(佐野 RC)

## 栄光なるロータリーの歴史を永遠に

08年～09年第8グループのガバナー補佐として僭越ですがグループ内の「友情の輪」と各ロータリークラブの交流の充実を図り、また羽石ガバナーの指針による一連のロータリー地区活動の推進に全力で補佐することが使命と考えております。この1年間皆様のご協力を頂戴し、精一杯、頑張る所存であり、改めて責任の重さを噛み締めております。

私の所属するクラブは地区内でも後ろから数えて何番目の会員数15名の超弱小クラブであり、今回のガバナー補佐選出の過程でも大変な議論がありました。しかし、最終的にはクラブ会員が一丸となって「全員参加」で事に当たる。

そんな意気込みが盛り上がり、それぞれの会員の理解と情熱に後押しされガバナー補佐をお引き受けする決心が出来ました。やはり持つべきは「友の輪」であり、ロータリー真髄ともいえるのではないのでしょうか。

現在、我がクラブは弱小クラブとはいえ45年の歴史を有しております。

しかし親子2代で所属した会員は3会員しかおりません。

少子高齢化が進みロータリアンの会員数も減少してゆく昨今ですがロータリー精神とは何か、ロータリーの良さ、素晴らしさを皆、会員は理解をしており、誇りに感じている事と思います。しかし何かの都合で退会なさる場合、次の世代にこのロータリーの素晴らしさを継承させるべきであると考え、この点の再構築を提案し、検証してゆくつもりです。

「栄光なるロータリーの歴史を永遠に」この辺を今回のガバナー補佐としてのテーマのひとつとして皆様と一緒に議論すべしと考えております。

この一年間、会員の皆様のロータリアンとしてのご意見を羽石ガバナーにお伝えすることに専念して、私の責務を果たしたいと考えておりますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

第9グループガバナー補佐を委嘱された佐野クラブの寺内です。この1年第9グループの皆さんと共に学びながら任務を全うしたいと思います。よろしくお願い致します。

羽石ガバナーは、RIのテーマ Make Dreams Real(夢をかたちに)から次のように目標を指示されました。

1: RI会長の強調事項(夢をかたちに)するために子供の死亡率を低下させる奉仕プログラムを地区レベル、国際レベルで実施する。そのためのクラブの活性化、会員増強、クラブ奉仕、職業奉仕、国際奉仕の5つの分野から、それぞれ1つの活動事項を発掘して実施する。

2: クラブ活性化のための目標

「夢をかたちに」するためロータリーで人格を高めよう  
例会に出席しよう

他クラブの活動を学ぶ

委員会の活動を活発にする

自分のため、他の人の為にロータリーの心を学ぶ

3: ロータリー財団活動への参加・支援

4: 米山記念奨学会活動への参加・支援

第9グループでは、これらのガバナーの地区目標を計画的に実行に移したいと思っております。更に当グループでは、古くから佐野クラブが地域奉仕活動として実施してきた「秋の自然に親しむ会」が今ではグループ全体で運営する奉仕活動に発展しています。クラブを超えての交流の場となり、地域社会の人々との集いの場となる恒例の行事となっています。第9グループの総意として、しっかり実行に移していきます。

ロータリーを学んでいると時々共通した考え方に出会うことがあります。その一つとしてロータリーの心である自由と平等の精神と論語の一節からそのことを窺い知ることが出来ます。それは孔子が弟子の子貢に答えてのことです。すなわち子貢の「生涯もっていけるものがありますか？」に答えて「それ恕か、己の欲せざるところ人に施すことなかれ。(それは恕というものだろう。この思いやりの気持で他の人の心を推しはかり自分がされたくないと思うことは他人には決してしないように心掛けねばならない)」ということです。ロータリーの心が世界の人々に愛され、生き方の糧とされていることと、孔子の恕にいられている思いやりの心が、それぞれに相関するものがあるからではないかと思われま。

ガバナー補佐の任務は地区ガバナーと各クラブの皆さんとのパイプ役であり、各クラブの連絡役です。それぞれのクラブは会員数や地域によって多少の相違があります。特色あるクラブ、個性ある委員会があって当然です。そうしたクラブや会員の皆さんの意見や要望事項を活性化させることや、ガバナーの指導事項の具現化を補佐することが役割です。各クラブの会長のもと、その集いが楽しく、一人ひとりが充実したものとなり、お互いに人格、人間性を豊かに磨き育てる例会等になるよう、その務めを果たしたいと思っております。



## 就任あいさつ



地区活性委員会委員長

鈴木 宏  
(宇都宮北 RC)

クラブ奉仕委員長

亀田 清  
(田沼 RC)

クラブ会長・クラブ幹事殿には益々ご清祥のことお慶び申し上げます。

クラブの自主性を尊重して、創立年数・会員数・地域差に係わらず、身の丈にあったクラブ運営と組織作りを基本として、ロータリー運動を理解し、前向きに取り組もうという CLP の考え方に多くのクラブから賛同を得ることができましたこと、地区内クラブの多大なるご理解と近藤隆亮直前ガバナーのお力に感謝いたします。

また、「RID2550地区運営指針」が近藤隆亮直前ガバナーにより作成され、DLPの骨格が完成されました。これによって本委員会の活動も終焉を迎えることとなりました。地区内ロータリアンの皆様には本委員会活動にご理解いただき感謝いたしております。

今年度の本委員会の活動は、村上肇地区研修リーダー・本委員会カウンセラーのもと森玄房ガバナー・エレクトと共に次期ガバナー補佐・クラブ会長エレクトとの話し合いを行っていく予定です。

ところで、ロータリー章典の 8.090クラブ・レベルの研修の中に「クラブ研修リーダー」・「クラブの研修プラン」に関するの記載があります。是非お読みになられては如何でしょうか。そして、クラブで「ロータリーとは？」・「職業奉仕」・「サービスとフェロウシップ」等に関して話し合う機会が生まれればと願う次第です。

最後に、2008年 1月 RI理事会の決議 156で、『決議 23-34』は『歴史的文献』となりました。このことに関しまして、クラブで話し合いをしてみても如何でしょうか。

末筆ながらこの 2008-09年度が皆様にとりまして、幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。

本年度 RI のテーマ『夢をかたちに』を充分理解し、羽石ガバナーエレクトが掲げる重点方針及び目標達成の為、地区チーム情報、広報、会員組織、ロータリー家族が一体となり、地区内クラブ活性の為にサポートしてまいります。

## 重点目標

1. クラブ奉仕委員会及び職業奉仕委員会合同研究会開催  
地区内 50クラブのクラブ奉仕、職業奉仕、広報、情報、会員組織、ロータリー家族、雑誌委員長にお集まり戴き、方針及び目標に対して活発な討論と対策を研究いたします。

日 時 7月 21日(祝日)

場 所 宇都宮グランドホテル

参加人員 350人

地区委員 ガバナー、ガバナーノミニー、諮問委員

ロータリーの友委員、DICO委員、

クラブ奉仕委員、職業奉仕地区委員

2. クラブ活性化の為には会員の増強は不可欠です  
クラブ奉仕委員会、広報、情報、会員組織、ロータリー家族の各委員会と連絡を密にし、1クラブ 1名の純増を図ることと同時に会員維持(退会防止)に努めます。
3. 新会員研修セミナーの開催  
各 9グループの IM 合同例会時に、各ガバナー補佐にお願いし、本会議前の時間を戴き、新会員研修セミナーを開催し、新会員の皆様にロータリーの素晴らしさ、例会の楽しさ、出席して良かったと言われる様努力致します。
4. 地域貢献活動の積極的広報推進  
地区内 50クラブの活動や地域活動をマスコミに伝達し、市民の皆様にもロータリーを積極的に広報し、理解していただきますと共に、全クラブ会員の情報共有化に努めます。
5. クラブ例会卓話に地区委員を派遣  
ガバナー補佐にお願いしてクラブ奉仕委員会の地区委員を派遣し、特に小会員クラブに対して情報の提供を含め支援いたします。



## 就任あいさつ



職業奉仕委員長

瀬下 龍夫  
(壬生 RC)

社会奉仕委員長

塚田 宗雄  
(宇都宮東 RC)

職業奉仕で夢をかたちに！

何年前かの RI のテーマに「人類が私たちの仕事」というのがありました。「博愛、憐憫、寛容、慈善が私のなすべき務めだった」とディケンズは亡霊に言わせています。

そうです、これらの務めを果たすために、ロータリアンはいろいろな奉仕活動をしているのです。しかし、いくら素晴らしい奉仕をしても、その基になる資金が垢にまみれては意味がありません。免罪符を買うために、奉仕活動をしているのではないからです。

これらの活動を支えるためには、各ロータリアンの経済的基盤が確立していなければなりません。二宮尊徳が「経済を忘れた道徳は寝言だと」喝破しているとおります。

ところが、経済に目が向きすぎると儲けに眩みます。決議 23 - 34 が重要な所以です。資本主義では、利益を上げることは否定されていません。ここに落とし穴があるのです。

大人が湯船に立って、湯が少ないと怒鳴ってはいけません。深くすれば子供が入れません。自分がかまがないのが間違いだと尊徳は説いています。関係者の利害にも充分配慮せよという戒めでしょう。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」のです。

職業奉仕は倫理の問題です。己の職業です。儲けにからむ難題です。「どうすべきか己で考え、それでよいのか、どう実施するか」ご自分の心に、絶えず問い続けて下さい。

倫理の問題ですから、人頼みでは実践できません。躬行して下さい。それが職業奉仕です。

職業奉仕の樹が大きく育ち、太くなれば、その他の奉仕活動も充実してきます。

人間の最終目標は思想ではなく行動であるとトマス・カーライルは言っています。

職業奉仕を通して、夢をかたちにいたしましょう。

「夢をかたちに」

《素晴らしい世界を後世に残すためには、まず最も若い世代に焦点を当てなければなりません。2008～2009年度、世界中のロータリアンの皆様に地域社会の最も大切な資源である「子ども達」に光を当てていただきたい》との RI 会長の方針であります。

近年、日本の経済が落ち込み、家計負担に対する教育費の割合は、上昇するばかり。学ぶ意欲と能力がありながら、経済的な理由で進学を断念しなければならない有能な人達も少なくありません。そのような人達を支援し、明日の栃木県を担う優秀な人材を育成するために栃木県育英会が大きな支援となっております。が、この長引く不況で運営資金がままならぬ状況に陥っており、その目的が思うように達せられなくなってきている現状を救うため各ロータリークラブからの寄付金をお願いし大学、高校生に役立ててもらえるよう、本年度、社会奉仕委員会で決定いたしました。

金額 1口 1万円 各クラブで 2口、3口でも可

目標 100万円

期日 2008年 12月末日まで

又、その他様々な課題が山積みです。各クラブで参考にさせていただきたいと思います。

小、中学校いじめ自殺問題

日光杉並木保護

県内の森林保護

エイズ問題

足尾に緑を



## 就任あいさつ



国際奉仕委員長

**飯村 慎一**

(宇都宮 90RC)



新世代プロジェクト委員長

**川名 悟**

(宇都宮 90RC)

2008～2009年度、国際奉仕委員長に就任させていただきました飯村です。日頃、地区の皆様には国際奉仕につきましてご理解とご協力を賜わり、心より感謝申し上げます。

さて、2008～09年度の国際ロータリー李東建会長は、私達に世界の地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいというメッセージを投げかけました。そして、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人いると訴え、保健と飢餓追放、水、識字率向上のプロジェクトに取り組んでいただきたいと呼びかけております。

この奉仕活動は正に国際奉仕であり、特に世界社会奉仕活動(WCS)であります。本年度からは、今までの青少年交換委員会は新世代に移りましたので、国際奉仕委員会は世界社会奉仕と国際親善の2つの委員会で構成することになりました。WCS委員会では、WCSプロジェクトの調査や紹介そしてマッチング・グランドの推進等を活動の中心と考えていきます。又、国際親善委員会では、国際活動の事例の案内、世界大会への参加促進、ロータリー友情交換の案内等を実施してまいります。

本年度の李会長の掲げるRIテーマは「夢をかたちに」です。この主語は誰でしょうか。それは“子供”です。最低限の食糧、飲むことのできる水、読み書きができる能力、これらはすべてこの子供達の夢です。この夢を実現させるため、世界のロータリアンは協力し合いながら行動してまいります。私達も是非、子供達の抱いている夢を具体的な“かたち”にすべく委員会活動を推進してまいります。

本年度一年間、各ガバナー補佐、各委員会の皆様にはお世話になりますので、よろしくようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

日頃より、ロータリアンの皆様には、当委員会へのご理解を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度も、皆様のご協力の下、委員会活動を進めてゆきたい所存ですので何卒宜しくお願い致します。

年頭にあたり、委員会としての特記事項が2つあります。1つは今年度より青少年交換委員会が新たに加わった事です。それに伴い、既存のライラ委員会、インターアクト委員会との結びつきがより強固なものとなり、委員会としてなお一層の協力体制が生まれるものと思います。また、ライラ参加者、インターアクトクラブ員にこれまで以上に国際交流の機会を提供できることでしょう。

もう1つは、皆様のご協力の下、青少年育成委員会で作成を進めておりました「ロータリアン講師派遣、教員生徒職場体験リスト」が昨秋完成し、今年度はいよいよその有効活用の普及に努める段階となったことです。栃木県教育委員会のご協力の下、県内8教育事務所とロータリーを結びつける形で活用のための活動を進めて参ります。9グループ各ガバナー補佐の皆様並びに各クラブにおかれましては、ご協力の程宜しくお願い致します。

さて、青少年交換委員会では、1年交換学生並びに夏季交換学生の派遣・受入を進めて参ります。ライラ委員会では、秋に青年男女対象、来春に高校生対象のライラセミナーを開催の予定です。ロータリーアクト委員会では、全国最少会員数ながら、魅力あるロータリーアクトを目指し、それにより会員増強に結び付けたいと思います。インターアクト委員会では、5月に宇都宮90ロータリークラブ提唱の作新インターアクトクラブが認証状伝達式を行い、13クラブが活動を行っております。

今年度のロータリースローガンは“夢をかたちに”です。若い世代の未来が夢と希望に満ちあふれたものになる様、そして夢の実現を実感できる様、彼らのかかえる様々な課題を共有し分かちあひながら活動を進めて参りたいと思います。



## 就任あいさつ



米山記念奨学会委員長

**池嶋英哲**

(西那須野 RC)



DICO

**木村正樹**

(宇都宮 RC)

## おかえり

(財)ロータリー米山記念奨学会は、昨年度設立40周年を迎え、この間1,850の世話クラブが13,902名の奨学生の世話をして来ました。これを機に、奨学生の消息を掘り起こす運動を始め、多くのクラブから回答を受領し、データ入力、整理をしています。この調査の目的は、消息を把握し、今後の密なる連絡を促進すること、活躍振りを把握し広報する、という点にあります。今年度、この成果として見出された海外で活躍する学友に日本に里帰りしてもらおう制度が設立されました。「米山学友ホームカミング制度」です。毎年、世話クラブの推薦に基づき、地区が自信をもって広報できる海外に暮らす学友1名を決定し、里帰りの費用の補助を米山記念奨学会事務局に申請するものです。1地区年間1名ではありませんが、今後継続すべき意義ある事業です。本部の意向は、地区大会やIMあるいは同種の研修会の開催などで、その活躍を披露する機会を設け、多くのロータリアンにその学友を紹介し、米山奨学事業の意義と成果の大きさを伝えて欲しいということです。当2550地区は、今まで500名の奨学生を世話し、各国へ巣立って行きました。それぞれの母国で立派に活躍しています。とりあえず、たった1名でございますので、委員会として選考することは本当に困難でございますが、各クラブより多くの推薦が上って来ることを期待しています。当地区は、羽石年度の地区大会にお呼びする予定で取り組んでおります。里帰りの学友第一号がだれに決定するか、興味津々、といったところもありますが、だれに決定しましても地区全員で歓迎したいと思います。「おかえり」

## DICO活動方針

今年度、引き続きDICOを担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

さて、DICOと言うと「どんな事をする担当なのか」と聞かれる事が多くあります。日本語に訳すと「地区IT情報伝達委員会」とでもなりますか。つまりインターネットなどの情報通信網を有効に活用して、ロータリーの情報活性化を推進するのが目的となります。DICOは地区の担当として、地区ガバナーやRJMなどの情報をCICOや地区委員会のご担当者にも有効に活用できるような活性化をさせていただくのが役割と考えております。

私たちは今、情報化時代に生きています。回りを見るとパソコンや携帯電話がオフィスや家庭で広く使われ、情報伝達の手段も紙ベースからインターネットなどに代表される電子媒体ベースになってきております。このような社会環境の中でロータリーとしましても、使って便利なものは使用して合理化、利便化をしてお互いのコミュニケーションをより活性化できるようにしてまいりたいと考えております。

僭越ながら各地区委員会から情報化推進のご担当者様を選んでいただきまして地区情報の活性化を共に推進させていただくこととなりました。いろいろと解決していかなければならない事柄があるかと思いますが、1歩ずつ前進していきたいと思っておりますので、なにとぞよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

おもな活動内容は下記の通りです。

1. インターネットなどの通信手段をもちいて地区内に情報を提供する
2. ガバナー月信のホームページ掲載
3. ロータリーの友インターネット速報のホームページ掲載およびメール配信
4. 地区ガバナーおよびガバナー事務所からの情報のホームページ掲載およびメール配信
5. よねやま速報のホームページ掲載およびメール配信
6. 地区委員会の情報をホームページやメールで提供できるように支援する



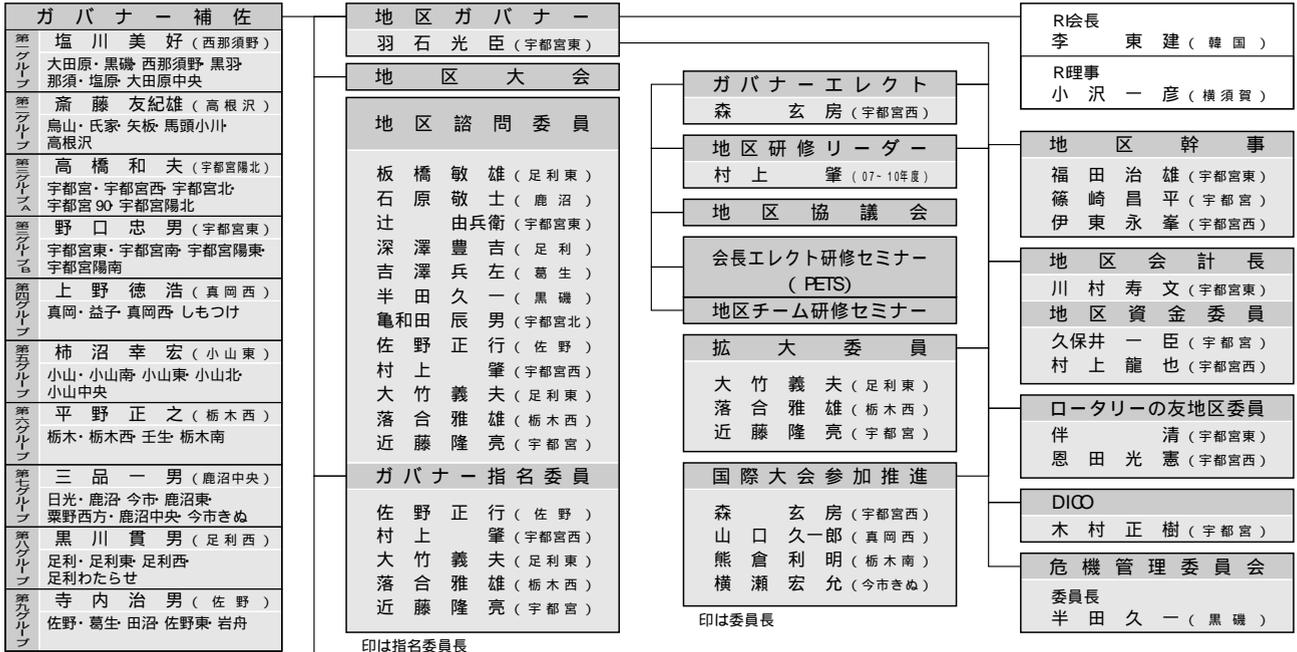
## 2008年 羽石ガバナー公式訪問 スケジュール

7月		8月		9月		10月		11月		12月	
1	火	1	金	1	月	1	水	1	土	1	月
2	水	2	土	2	火	2	木	2	日	2	火
3	木	3	日	3	水	3	金	3	月	3	水
4	金	4	月	4	木	4	土	4	火	4	木
5	土	5	火	5	金	5	日	5	水	5	金
6	日	6	水	6	土	6	月	6	木	6	土
7	月	7	木	7	日	7	火	7	金	7	日
8	火	8	金	8	月	8	水	8	土	8	月
9	水	9	土	9	火	9	木	9	日	9	火
10	木	10	日	10	水	10	金	10	月	10	水
11	金	11	月	11	木	11	土	11	火	11	木
12	土	12	火	12	金	12	日	12	水	12	金
13	日	13	水	13	土	13	月	13	木	13	土
14	月	14	木	14	日	14	火	14	金	14	日
15	火	15	金	15	月	15	水	15	土	15	月
16	水	16	土	16	火	16	木	16	日	16	火
17	木	17	日	17	水	17	金	17	月	17	水
18	金	18	月	18	木	18	土	18	火	18	木
19	土	19	火	19	金	19	日	19	水	19	金
20	日	20	水	20	土	20	月	20	木	20	土
21	月	21	木	21	日	21	火	21	金	21	日
22	火	22	金	22	月	22	水	22	土	22	月
23	水	23	土	23	火	23	木	23	日	23	火
24	木	24	日	24	水	24	金	24	月	24	水
25	金	25	月	25	木	25	土	25	火	25	木
26	土	26	火	26	金	26	日	26	水	26	金
27	日	27	水	27	土	27	月	27	木	27	土
28	月	28	木	28	日	28	火	28	金	28	日
29	火	29	金	29	月	29	水	29	土	29	月
30	水	30	土	30	火	30	木	30	日	30	火
31	木	31	日			31	金			31	水



# 2008~09年国際ロータリー第2550地区組織図

District2550 Organization



印は指名委員長

印は委員長

カウンセラー (担当諮問委員)					
地区活性担当	クラブ奉仕担当	奉仕プロジェクト担当	新世代プロジェクト担当	ロータリー財団担当	米山記念奨学会担当
村上肇 (宇都宮西)	亀和田辰男 (宇都宮北)	近藤隆亮 (宇都宮)	大竹義夫 (足利東)	佐野正行 (佐野)	落合雅雄 (栃木西)

委員会							
地区活性	クラブ奉仕	奉仕プロジェクト			新世代プロジェクト	ロータリー財団	米山記念奨学会
委員長 鈴木宏 (宇都宮北)	委員長 亀田清 (田沼)	職業奉仕 委員長 潮下龍夫 (壬生)	社会奉仕 委員長 塚田宗雄 (宇都宮東)	国際奉仕 委員長 飯村慎一 (宇都宮90)	委員長 川名悟 (宇都宮90)	委員長 佐野正行 (佐野)	委員長 池嶋英哲 (西那須野)

<b>ガバナー補佐</b>	<b>ロータリー情報</b> 梁島伸幸 (壬生) 吉成容一 (氏家) 佐伯秀秋 (宇都宮北)	<b>職業奉仕</b> 西田靖 (宇都宮陽北) 大出孝三 (鹿沼) 田島久夫 (宇都宮南)	<b>社会奉仕</b> 三ツ山一昭 (日光) 小沼重信 (黒羽) 塩濱茂夫 (宇都宮西)	<b>世界社会奉仕</b> 飯村慎一 (宇都宮90) 美野輪弘之 (鹿沼東) 大金義夫 (大田原) 関根啓一 (今市)	<b>青少年育成</b> 伊澤勝彦 (しもつけ) 牟田紀一 (益子) 五十畑豊廣 (岩舟)	<b>国際親善奨学金</b> 喜谷辰夫 (宇都宮) 狐塚泰久 (鹿沼) 横塚欣一 (田沼)	<b>米山記念奨学会</b> 塚越啓司 (足利東) 石川敬蔵 (小山) 田村嘉慶 (宇都宮90) 久万澄勇 (真岡西)
<b>次年度クラブ会長</b>	<b>広報</b> 遺藤幸一 (小山東) 熊倉学 (宇都宮陽北)	<b>職員組織</b> 増岡迪子 (足利東) 高山攻 (しもつけ) 橋本義一 (栃木) 小堀幸矢 (矢板) 小篠一暉 (宇都宮東) 篠崎博司 (佐野) 岩上総一 (大田原) 長坂道夫 (鹿沼東)	<b>国際親善</b> 田島良久 (馬頭小川) 出口散 (鹿沼東) 金子剛士 (真岡)	<b>青少年交換</b> 青山敏昭 (佐野) 松葉悠子 (足利東) 高山恵 (宇都宮陽北) 小倉和己 (宇都宮北) 金子昭彦 (鹿沼) 石田順一 (真岡)	<b>ガバナーノミニー</b> 中田英昭 (葛生) 桜井洋子 (真岡西) 増山誠 (宇都宮陽東) 芝口久雄 (佐野東) 橋本義彦 (足利) 喜内敏夫 (宇都宮南)	<b>研究グループ交換</b> 村上正子 (栃木南) 藤原郁三 (益子) 横松宏昭 (宇都宮西) 奈良靖久 (大田原) 石島洋 (宇都宮) 佐山知也 (栃木)	<b>米山記念奨学会学友会</b> 恩田光憲 (宇都宮西)
<b>次年度ガバナー補佐</b>	<b>ロータリー家族</b> 狐塚育男 (栃木西) 塚本和也 (益子)	<b>財団補助金</b> 佐藤節 (宇都宮陽北) 高野藤彦 (宇都宮東) 真尾伸一 (足利わたらせ) 青山吉博 (西那須野)	<b>ローターアクト</b> 岡川光依 (宇都宮西) 黒田雄一 (鹿沼) 小林正昭 (宇都宮東) 齋藤武久 (黒磯) 島田将行 (足利東) 川村裕一 (佐野)	<b>ガバナーノミニー</b> 青山敏昭 (佐野) 松葉悠子 (足利東) 高山恵 (宇都宮陽北) 小倉和己 (宇都宮北) 金子昭彦 (鹿沼) 石田順一 (真岡)	<b>年次寄付 &amp; 恒久基金</b> 田村昭夫 (小山東) 石崎功一 (栃木西) 渋谷正仁 (今市きぬ)	<b>財団学友</b> 白相淑久 (馬頭小川)	
<b>石川昭男 (鹿沼東)</b> <b>阿部孝憲 (氏家)</b> <b>加藤利勝 (黒羽)</b>	<b>ロータリー家族</b> 狐塚育男 (栃木西) 塚本和也 (益子)	<b>ローターアクト</b> 岡川光依 (宇都宮西) 黒田雄一 (鹿沼) 小林正昭 (宇都宮東) 齋藤武久 (黒磯) 島田将行 (足利東) 川村裕一 (佐野)	<b>インターアクト</b> 月江寛智 (黒磯) 中島恭三 (足利東) 菅野進一 (矢板) 二十二修 (宇都宮北) 関口文雄 (葛生) 町田卓大 (宇都宮) 櫻木宏紋 (足利)	<b>ローターアクト</b> 岡川光依 (宇都宮西) 黒田雄一 (鹿沼) 小林正昭 (宇都宮東) 齋藤武久 (黒磯) 島田将行 (足利東) 川村裕一 (佐野)	<b>ローターアクト</b> 岡川光依 (宇都宮西) 黒田雄一 (鹿沼) 小林正昭 (宇都宮東) 齋藤武久 (黒磯) 島田将行 (足利東) 川村裕一 (佐野)	<b>ローターアクト</b> 岡川光依 (宇都宮西) 黒田雄一 (鹿沼) 小林正昭 (宇都宮東) 齋藤武久 (黒磯) 島田将行 (足利東) 川村裕一 (佐野)	<b>ローターアクト</b> 岡川光依 (宇都宮西) 黒田雄一 (鹿沼) 小林正昭 (宇都宮東) 齋藤武久 (黒磯) 島田将行 (足利東) 川村裕一 (佐野)

ガバナーエレクトは国際大会 (ロサンゼルス) にてエレクトになりますので、月以前はノミニーです。  
 青少年交換委員会には、ガバナーノミニーが選出されましたら、委員に入ります。  
 印は小委員会委員長



## 2008~ 09年 地区主要行事予定

月	日	曜日	行 事	担 当		場 所
7	7	月	2008~ 09R会長主催会議	RI	東 京	東京ホテルグランパシフィック
	13	日	新世代プロジェクト委員会研修セミナー	地区新世代委員会		
	19	土	第 4回 諮問委員会	G事務所	宇都宮	ホテル丸治
	21	月	クラブ奉仕委員会研修セミナー	地区クラブ奉仕委員会		
	24~ 28	木~月	インターアクトクラブ 研修旅行	地区 IAC委員会	タ イ	
		日	日光 RC50周年		日 光	
8	7	木	インターアクト年次大会 (ホスト青藍泰斗高等学校)	葛生 RC		
	10	日	R財団委員会研修セミナー	地区財団委員会		
	24	日	米山記念奨学会委員長研修セミナー	地区米山委員会		ホテルニューイタヤ
	31	日	第 4回会長・幹事会	ホスト宇都宮東 RC	宇都宮	コンセーレ
9			奉仕プロジェクト委員長研修セミナー			
			地区バスト会長のつどい	G事務所		
10			一年交換派遣学生 (2009年) 選考試験	地区青少年委員会		
11	1~ 3	土~月	第 34回青少年対象ライラセミナー	地区ライラ委員会		
	16	日	真岡 RC50周年			
11	20~ 22		ロータリー研究会	RI	東 京	

2009年						
1			第 2回諮問委員会 壮行会	G事務所	宇都宮	ホテル丸治
	18~ 25	日~日	国際協議会	森GE	米 国	サンディエゴ
			第 2回会長・幹事会	ホスト宇都宮東 RC	宇都宮	
2			第 3回諮問委員会 帰朝報告	G事務所	宇都宮	ホテル丸治
	14	土	田沼 RC45周年			
	21	土	岩舟 RC30周年			
3			第 10回高校生ライラセミナー			
			2009-10年度 地区チーム研修セミナー	森GE	宇都宮	
			2009-10年度 会長エレクト研修セミナー	森GE	宇都宮	
			2009-10年度 地区協議会	森GE	宇都宮	
4	24	金	地区大会記念ゴルフ大会	ホスト宇都宮東 RC	宇都宮	
	25	土	R会長代理歓迎晩餐会	ホスト宇都宮東 RC	宇都宮	
	26	日	2008~ 09年度 地区大会	ホスト宇都宮東 RC	宇都宮	
6	21~ 24	日~水	国際大会		英 国	バーミンガム



## ロータリー月間

2008年7月～2009年6月

月	行 事	月	行 事
【8月】	会員増強および拡大月間	【2月】	世界理解月間
【9月】	新世代のための月間	【2月23～29日】	世界理解と平和週間
【10月】	職業奉仕月間	【2月23日】	ロータリー創立記念日
【10月】	米山月間	【2月23日】	世界理解と平和の日
【11月】	ロータリー財団月間	【3月】	識字率向上月間
【11月5日を含む 週間】	世界インターアクト週間	【3月13日を含む 週間】	世界ローターアクト週間
【12月】	家族月間	【3月13日】	世界ローターアクトの日
【1月】	ロータリー理解推進月間	【4月】	雑誌月間
【1月27日を含む 週間】	追悼記念週間	【6月】	ロータリー親睦活動月間

## ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

## The Object Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫]は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、38年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用下さるようお願い致しております。

### 【 利用方法 】

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。お問合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

#### 文庫資料をご希望の場合は

- ・ 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・ 絶版のものは実費（1枚 20円 + 送料）でコピーサービスを致します。  
一部“PDF”で閲覧できます。
- ・ 重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ ビデオテープは有料でダビングを致します。

#### 貸出し

- ・ 視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸し出し致します。

#### 登録資料の紹介

- ・ 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・ 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・ 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

#### ご寄贈

- ・ 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

### 【 ロータリー文庫 】

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F  
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506【 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 】  
開館 = 午前10時～午後5時 / 休館 = 土・日・祝祭日

## 通信欄

FAX番号変更のお知らせ 那須ロータリークラブ 0287-62-0617 a 0287-76-3487  
岩舟ロータリークラブ 0282-55-2202 a 0282-55-2104

開催曜日変更のお知らせ 日光ロータリークラブ 木曜日 a 水曜日

開催時間変更のお知らせ 足利わたらせロータリークラブ 第3木曜日のみ 19:00 a 17:00